

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年1月19日 No. 44 文責：佐野紳二

明日は（明日から）大寒です 二十四節季について

ここ数年、暖冬傾向が続いていたからでしょうか、年末くらいから続く寒さがとてもこたえています。休み時間に半袖短パンで校庭を走り回っている子どもの姿を見ると、とても羨ましくなってしまいます…。

私が歳をとったからそう感じるのかなあ～なんて思って調べてみると、過去10年間の平均気温と比べて、今年の気温は0.6℃くらい低いという結果でした。「いつもよりも若干寒い冬」という感じでしょうか。でも、昨年とはあまり変わりがないので、やっぱり歳なのかなあ…

1月のカレンダーを見ると、明日20日のところには「大寒」と書いてあります。「1年のうちでもっとも寒い時期」となるのがこの「大寒」の頃で、1月21日頃から2月3日の節分までを言うそうです。（まだこれから寒くなるのかなあ…早く暖かくなならないかなあ…）と、そんなことを書いていると「二十四節季」なるものが無性に気になったので、調べてみました。（いつもの私の性分です）ちょっとお付き合いください。

二十四節季とは？

二十四節気（にじゅうしせつき）は、今でも立春、春分、夏至など、季節を表す言葉として用いられています。1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたもので、「節気（せつき）」と「中気（ちゅうき）」が交互にあります。



二十四節季

| 季節 | 二十四節季 | 新暦の日付 |
|----|-----------|---------|
| 春 | 立春（りっしゅん） | 2月 4日頃 |
| | 雨水（うすい） | 2月 19日頃 |
| | 啓蟄（けいちつ） | 3月 5日頃 |
| | 春分（しゅんぶん） | 3月 21日頃 |
| | 清明（せいめい） | 4月 5日頃 |
| | 穀雨（こくう） | 4月 20日頃 |
| 夏 | 立夏（りっか） | 5月 5日頃 |
| | 小満（しょうまん） | 5月 21日頃 |
| | 芒種（ぼうしゅ） | 6月 6日頃 |
| | 夏至（げし） | 6月 21日頃 |
| | 小暑（しょうしょ） | 7月 7日頃 |
| | 大暑（たいしょ） | 7月 23日頃 |

| 季節 | 二十四節季 | 新暦の日付 |
|----|-----------|----------|
| 秋 | 立秋（りっしゅう） | 8月 8日頃 |
| | 処暑（しょしょ） | 8月 23日頃 |
| | 白露（はくろ） | 9月 8日頃 |
| | 秋分（しゅうぶん） | 9月 23日頃 |
| | 寒露（かんろ） | 10月 8日頃 |
| | 霜降（そうこう） | 10月 24日頃 |
| 冬 | 立冬（りっとう） | 11月 7日頃 |
| | 小雪（しょうせつ） | 11月 22日頃 |
| | 大雪（たいせつ） | 12月 7日頃 |
| | 冬至（とうじ） | 12月 21日頃 |
| | 小寒（しょうかん） | 1月 5日頃 |
| | 大寒（だいかん） | 1月 21日頃 |

調べてみて、知っている言い方と知らない言い方が大体、半々くらいかなあ…なんて思いました。また自分自身の季節の感覚とは1か月くらいのずれがあるようにも感じました。昔の人は季節の移り変わりに敏感だったのかな？二十四節季は旧暦を使っていた頃の言い方なので、それも関係あるかも知れません。



日本以外の国には、おそらくこうした季節の言い方はほとんどないと思われます。これらの言葉は我々の日常生活の中からだんだん失われているような気もしますが、季節の移り変わりを細かく言葉で表すのは、日本の素晴らしい文化のひとつでもあるように思います。(日本には微妙な色彩の表現もたくさんあります。とある企業のCMで女優の吉岡里帆さんがそのことについて語っていますね)言葉は時代とともに変わっていくものなので、こうした言い方も徐々になくなっていってしまうのかも知れませんが、それは何だかとても「もったいないこと」のような気がします。時にはこんな季節の言い方も、気にしてみるといいのかも知れません。

スキー教室に行ってきました 1月13日(木) サンメドウズ清里スキー場

先週の木曜日(13日)、5年生と6年生がスキー教室に行ってきました。

この日は前日のような強風はなかったものの、曇り空に時折雪が舞うような天気だったそうで、子どもたちにとってはちょっと厳しいコンディションだったようです。でも、子どもたちは皆、寒さに負けることなく元気にレッスンに取り組んだそうです。5年生の多くが初めてのスキーだったようですが、インストラクターの先生の話をしっかり聞き、午後にはすべての子がリフトに乗り、ある程度の距離をすべることができました。

今は私たちが若かった頃(「私をスキーに連れてって」なんていう映画が流行った頃です)のようにスキーは盛んではないようですが、ともするとこたつで丸くなってテレビやゲームに夢中になってしまいがちなこの時期に、ウィンタースポーツのひとつであるスキーを経験することは、大切なことなのかなぁ…と思っています。子どもたちが、今回のスキー教室をきっかけに「スキーに行きたい!」なんて言ったときには、ご家庭でもスキー場に足を運んでみてはいかがでしょうか。



予告なしの避難訓練を行いました(火災想定)

18日(火)の2校時に、火災想定避難訓練を実施しました。今回は子どもたちに事前に予告をせず、より実際の場面に近い訓練を行いました。

多目的室から出火という想定で実施したので、普段は校舎の東側から避難する1,3,5年生も、校舎の北側を回って西側から避難をしました。風が吹き、寒い中の訓練でしたが、避難の途中でしゃべるような人もなく、迅速な避難ができました。もちろん、火災が起きないことが一番ですし、学校でも火の扱いには十分に注意をしていますが、いざというときに備え、こうした訓練を繰り返し行うことも大切にしたいと思います。

